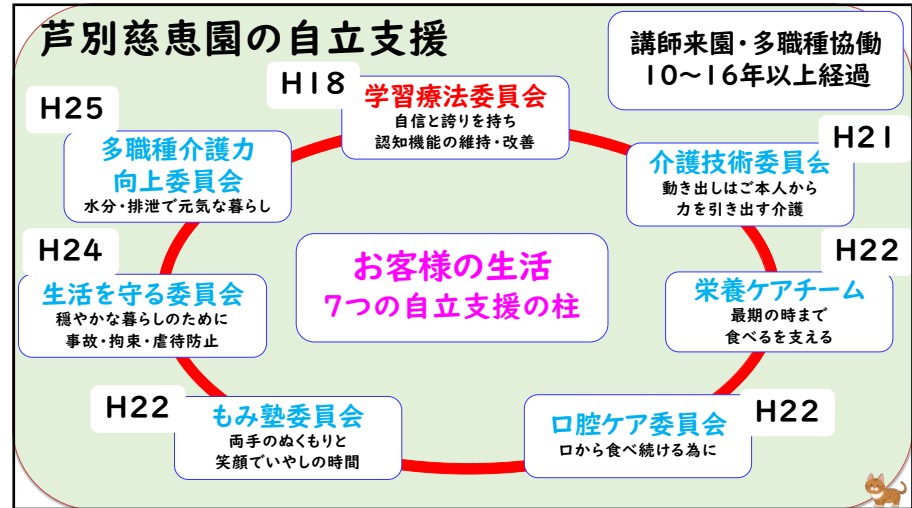


# お客様のひと言が仕事の向き合い方を変える

～ICTの活用を通してリーダー職の姿勢が変わる～

社会福祉法人 芦別慈恵園  
サテライト型居住施設 かざぐるま  
くらし係 マネージャー 佐藤勝利

1



2

### N様の思い

足がからまって筋肉が突っ張ってしまって、突っ張り具合は人に言えないくらい苦しいもの。

3

### N様の不安

- ・筋肉が突っ張る、足に痛みやしびれが増加
- ・人に言えない程苦しい。
- ・コールに手が届かない。
- ・呼んでも門が閉まらなくて、気がついてからだと遅く、力尽きる。

**ライフリズムナビ導入**

入居者がどんな時に困っているか  
職員は分からないでしょ？

自分たちの考えとは違っていた…

4

## ライフリズムナビ導入

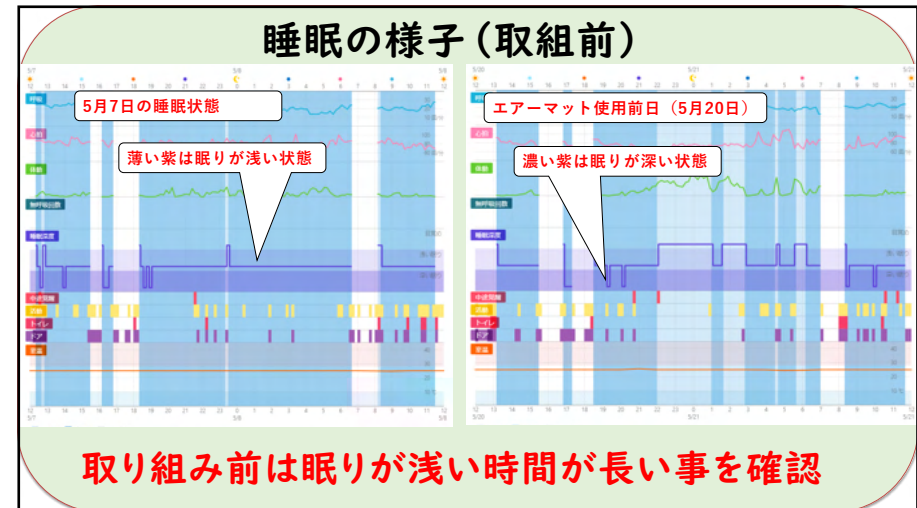
- ・ICTの活用
- ・介護ソフトと連動性が高い

北海道  
初導入!

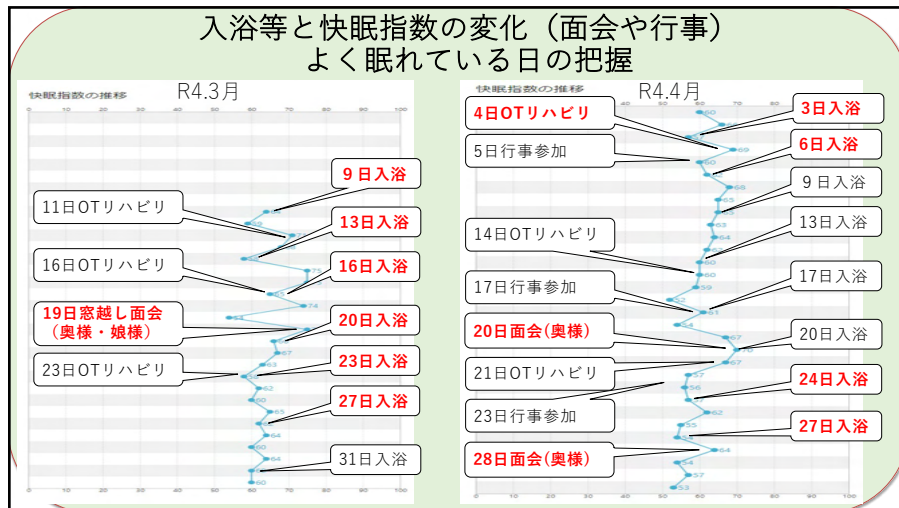
### 活用法

- ・お客様の行動の把握
- ・睡眠状態の確認
- ・お客様の健康状態の把握
- ・夜勤帯の業務軽減

5



6



7

### 原因として

- ①足の痛み、しびれ
- ②家族に会えない寂しさ
- ③持病悪化による不安

➔

### 取り組み

- ①エアーマット使用
- ②広い居室での面会の実施
- ③ライフリズムナビの説明

8

**取り組みの結果**  
ご本人様より



- ・足のしびれや痛みの軽減
- ・居室が広くなった事で圧迫感が無く快適
- ・家族と面会が出来る事で安心
- ・職員が常に見守ってくれて安心



9

**深い眠りが続いた日数の比較**  
見守りシステム『ライフリズムナビ』の測定結果より、深い眠りが長く続いた日数を比較

測定した月	快眠できた日数	ケアの取組
4月	0日	取組を行う前
5月	3日	5月21日エアーマット使用
6月	17日	6月29日広い居室に移動
7月	19日	7月1日ライフリズムナビ説明

10

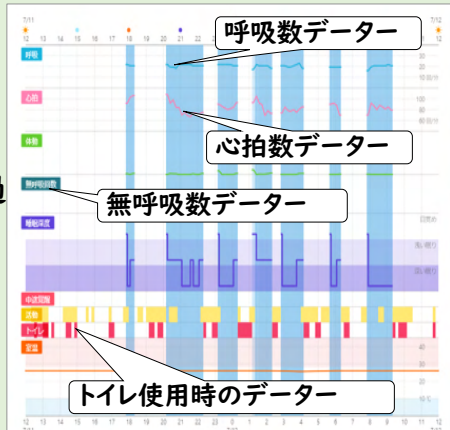


**睡眠の質が改善され、「快眠」できていることを確認!**

11

**多職種で事例検討**

- ①心拍、呼吸、無呼吸数の確認  
・スリープセンサー活用
- ②自立している方の排泄の把握と改善の経過  
・トイレ人感センサーとアラート活用



一人ひとりの体調把握  
泌尿科処方薬の調整

12

## トイレアラートの効果

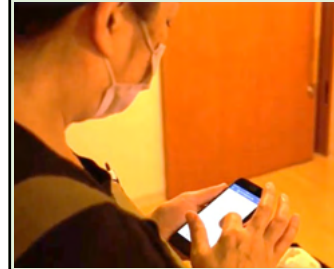
- ・追加排便薬の減少や  
転倒防止
- ・布パンツ使用者の  
増加

20名中18名



13

## ライフリズムナビ導入前後での 夜勤帯の業務の比較



夜勤帯の勤務時間は

21時55分から翌7時35分まで  
(休憩100分)

1.2階(各10名で20名)を1名で  
対応

14

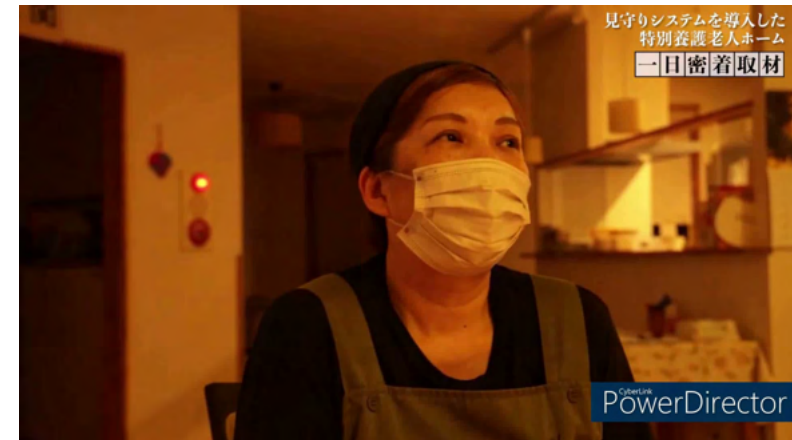
## 夜勤帯の業務比較

導入前

- ・2時間毎の訪室 (1人4~5回)
- ・定時のパット交換
- ・都度のコール対応

休憩は10~20分程度を小刻みで100分は  
取れるが休憩している感覚はなかった。

15



16

## 夜勤帯の業務比較

導入後

- ・定時での訪室を止めライフリズムナビで確認  
(1人2~4回)
- ・データからその方に必要な訪室回数へ変更  
(睡眠の妨げにならない様に)
- ・時間にゆとりが出来た事で離床への動き出し  
時間を調整

まとまった休憩時間(30分~1時間)がとれる様になった事で身体的、精神的にも楽になった。

17

## マネジャー(くらし系の責任者として)

ライフリズムナビのデーターの『見える化』により

- ・根拠を持つ
- ・分かりやすく説明
- ・実践し確認
- ・データをもとに成果をだす
- ・しっかり方向性を示す
- ・決めた事は必ず実践する
- ・出来るまで何度も伝える



18

## それが人材育成

根拠に基づいた  
ケアの継続  
お客様・職員の笑顔を増やす

19

## 「今後の課題」

### 『特定技能実習生』

ミャンマーより3名2月入社

- ・芦別で住みやすく、
- ・芦別慈恵園で仕事しやすい様に  
フォローする
- ・その為にミャンマーの事を知る

20



ご清聴ありがとうございました